

事業所名 生活クラブ風の村あかとんぼ稲毛・児童発達支援 支援プログラム（参考様式） 作成日 2025年 3月 1日

法人（事業所）理念	『あかとんぼ号「わくわく」発 「豊かな未来」行き』 1. 「あかとんぼ」は、こどもたちが安全で自分らしく過ごすことができる楽しい居場所を目指します。 2. 「あかとんぼ」は、遊びを通して、本人の得意とする力を伸ばすとともに、苦手なことが少しでも軽減できるよう支援します。 3. 「あかとんぼ」は、こどもたちの将来を見据えて「生活力」を高められるよう支援します。								
支援方針	・主体性を中心に据えよう ～決めつけず、まずは気持ちを確認する～ ・never say never ～できないと決めつけない～ ・「関心」こそが専門性 ～サインを見逃さない～ ・医療的ケアは本人の生活の一部 ～医療的ケアは“特別”じゃない～ ・あなたとわたしはパートナー ～わたしたちは共生している～								
営業時間	終日時	9時	0分	から	16時	0分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ●当事業所は家庭での生活リズムを大切にし、生活の中で何に重点を置いているかを引継ぎ時や計画作成時等には必ずご家族に必要な情報をヒアリングします。その上で利用時に体調の確認、家庭での様子等を伺い、当日の過ごし方や支援の内容を適宜判断して対応します。 ●発達段階で昼寝も大事ななどのご家族と相談し時間等を確認して生活リズムが安定するよう支援します。 ●医療的ケアのある利用者は家庭と同じタイムスケジュールで行えるよう専門職が共有認識で行えるよう確認を徹底している。 ●午前中に身体の時間を設けて本人にあったマッサージ・ストレッチ・歩行訓練等、リハビリ職と共通の課題に取り組みます。 ・「体温・体調確認」…来所時に体温・体調を確認します。他に適宜行っています。 ・「スヌーズレン」「バランスボール」「音楽活動」等…緊張を緩和することで側弯等を防止し、健康な身体を守ります ・「おやつレク」…食事は健康の基本であることを理解し、少しでも食べる楽しみを知っていただけるよう、口から食べること、おいを嗅ぐこと、調理レク等の面から支援します ・「足浴」…血の巡りを良くするため足浴します 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ●発育に必要な「お座り」「ハイハイ」「つかまり立ち」「つたい歩き」などを行えるようになるため、本人に応じた正しい姿勢を維持するためサポートします ●午前中に身体の時間を設けて本人にあったマッサージ・ストレッチ・歩行訓練等、リハビリ職と共通の課題に取り組みます。 ・「音楽活動」等…音を感じて楽しみながら緊張を弱めたり、機能向上できるよう支援します ・「バランスボール」…平衡感覚を養います ・「立位」「歩行」…足底で体重や重力を感じるとともに、体幹を鍛えます ・「足浴」「スライム」等…様々な感覚を身体に入れて過敏・鈍麻の改善、感覚の体験を支援します 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ●初めて見るもの触れるもの体験すること、五感や経験を体験することでご本人の世界を広げられるよう支援します。 ●季節を感じる習慣を身につけることで生活の楽しみを増やせるよう支援します。 ●支援者がこれから行おうとすることを言葉やツールを用いて説明し、本人が理解した上で、行動するようにします。 ・「散歩」…気候、草花、匂いから季節を体感できるよう支援します ・「外出」…日常的に行くことのできない場所に向向いて過ごすことで、非日常を体験する機会を提供します ・「各種ゲーム」…競争、成功、失敗、ルールを理解・体感し、喜怒哀楽を表現できるよう支援します ・「感覚遊び」…様々な感触・感覚・知覚を身体に入れて、道理を理解したり認知力を高められるよう支援します 							
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーションの発育過程を理解して視覚、言語、社会性、遊びでの成長に寄り添った支援をします。 ●本人の意思表出を見逃さないよう職員間で情報共有しサインを共有認識します。 ●本人が理解できるツール（言葉、視線入力、絵カード等）や言葉を選択して用いることで、コミュニケーションの成立とその楽しさを伝えます。 ●支援者がこれから行おうとすることを言葉やツールを用いて説明し、本人理解のもと、行動する事で本人と支援者のコミュニケーションを大切にします。 ●できたことは褒めてできなかったことは努力したことを認めたくえて信頼関係を築きます。 							
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭から離れ初めて集団生活を送る利用者が多いため、まずは本人が保護者から離れる。事業所に慣れる。支援者に慣れる。環境（集団・他者との関係）に慣れる。生活リズムを身につけることを目標として小学校入学までの療育を支援します。 ●同年代はもちろん、様々な年齢・様々な立場の人と関わる機会を設けることで社会経験を積み、社会性を身につけられるよう支援します。 ・「事業内での活動」…生活介護の利用者との日常の関りの中で集団生活を体験し学びます。 ・「館内散歩」「館内イベント」…高齢者などと関わり楽しみを共有する等の社会経験を積み機会を提供します ・「音楽活動」…音楽を介してお友達と一緒に演奏したり遊んだりして関係性を深めます 							
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング面談だけでなく、送迎時の会話、電話連絡、メール連絡を大事にして、やり取りを細目にするなどで、お互いが気軽に相談できる関係性を作っていきます。 ・急用や家庭の事情などで追加利用にも可能な限り対応していきます。 ・家族交流会を年1～2回以上開催し、保護者及びきょうだい同士が交流できる機会を提供します。保護者会や研修会等の開催の希望等あれば協力していきます。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて家族から離れての集団生活を送るため、ご家族とのコミュニケーションを大事にし、離れても大丈夫だと思えるタイミングと信頼関係を築ける努力をします。 ・小学校入学時には、学校の情報をご家族にお知らせするだけではなく学校との情報共有、引継ぎ資料の作成など学校の支援計画にも協力します。 ・放課後等デイサービスなどの他事業所へもご家族の許可を得て情報共有や助言等の協力をしていきます。 ・職員が疑問に感ったことなどには迅速に解決できるよう研修や話し合い等行います。 ・定期的に内部研修を行います。（毎月程度） ・外部研修にも積極的に参加できるような体制を取りります。 						
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所や併用事業所、学校、医師等と適宜情報共有し、必要に応じて担当者会議を呼びかけたり参加します。 ・地域との関係性を大事にし、行事の参加や交流の機会を作っていきます。 	職員の質の向上							
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・行事は毎年度はじめに検討・決定しています。 ・季節のイベントを大事にし開催・参加しています。 								